



学校だより

白樺の学舎

松本市立波田中学校 令和7年7月18日 NO.4

「ワクワク・やってみたい」を共に抱く授業づくり が動き出した1学期

1年生 松本市街散策で探究の学びをスタート

観光客や博物館で働く方、冷たくておいしい井戸の水などに存分に触れた1年生。クラスの仲間との絆も深め、次につながる学びを創り上げました。探究の成果を新聞などを通して他の人に伝えていきます。2学期が楽しみです。

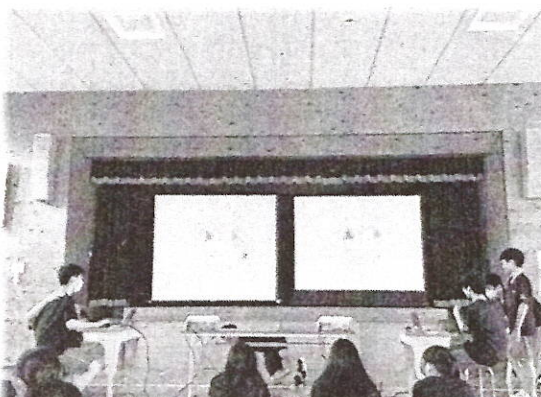


1年生 井戸水に触って、飲んでみました。お土産に持ち帰った生徒も。

2年生 生徒の願い「学年の中を深め、テストのつかれをなくそう！」

～New Friends 交流レクリエーション～

2学年福祉交流委員会が計画したレクリエーションが行なわれました。クイズとテトリスをグループ対抗で行い、学年全員でゲームを楽しみ、大いに盛り上がりました。福祉交流委員が自ら願いをもって計画・準備・実行して実現する素敵な会となりました。クラス、学年の一体感を創り上げました。「New Wind」(学年目標)が吹き始めた2年生の2学期が楽しみです。



2年生 テトリスを3人組のチーム対抗で行い、会場は大盛り上がりでした

3年生 自分のテーマを見つめる

～探究の問いづくり～

総合的な学習の時間で探究テーマを考えています。探究するために自分が何を追究したいのか、問いづくりをしています。生徒からは、「人気のあるアニメの共通点」「波田中の校歌に出てくる地名などはどのような景色?」「美味しいものはなぜカロリーが高いのか」などのワクワクするようなテーマがたくさん出されました。2学期には、出しあった問いについて、気になるテーマを選択し、グループ追究をしていきます。波田中の探究的な学びをリードする頼もしい3年生。今後が楽しみです。

職員探究の日 ～職員も探究の楽しさを味わいます～

職員研修で問いづくりを体験しました。例えば、「物価上昇はどうして? 例 昔の卵かけご飯と今の卵かけご飯の値段くらべ」「ちいかわ転売はどうして? 例 転売やってどのくらい儲けているの?」「なぜ修学旅行が京都・奈良なの? 例 2050年修学旅行ってどうなってる?」などの問いが出てきました。職員の探究は、夏休みに校外に出て調査・情報収集へと続きます。2学期、職員も生徒と一緒に学ぶ総合の授業が楽しみです。



職員自身の探究心が引き出されて、考えること自体が楽しく感じられました